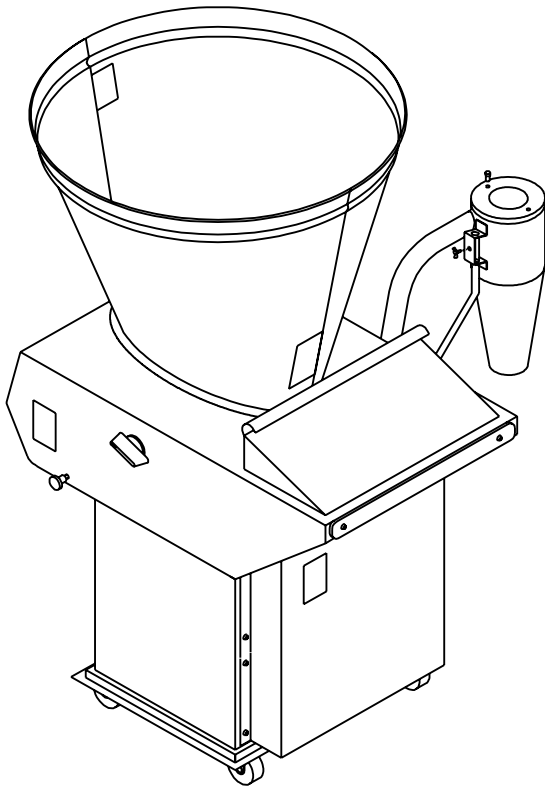




唐箕付 精米機【サイクロン付】

マスペット4LEA型

## 取扱説明書



この度は、マルマス循環式精米機  
“マスペット4LEA型”  
をお買上げ頂き  
厚く御礼申し上げます。

ご使用まえには  
必ず(取扱説明書)を熟読され  
未長くご愛用ください。

なお、不明瞭な点がございましたら  
販売店もしくは当社宛てに  
お問い合わせください。



**警告**

この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作  
及び保守・点検を行ってください。

この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつ  
でも見られるように大切に保管してください。

マルマス機械株式会社

## 重要なお知らせ



この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。  
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。  
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。  
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡ください。



この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せで回答を得るまで作業を進めないで下さい。

## 1. 危険防止のために

1-1	警告用語の種類と意味	1 頁
1-2	本機の使用にあたっての諸注意	2 頁
1-3	警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明 (1)	3 頁
1-4	警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明 (2)	4 頁
1-5	警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明 (3)	5 頁

## 2. ご使用になるまえに

2-1	本機の構成名称	6 頁
2-2	精米装置の構成	7 頁
2-3	サイクロンの取り付け方	8 頁
2-4	機械的、電気的使用の確認	9 頁
2-5	電気工事に関する注意事項	10 頁
2-6	本機の設置について	11 頁
2-7	回転方向の確認	11 頁

## 3. 運転方法

3-1	試運転における注意事項	12 頁
3-2	運転方法	13 頁
3-3	運転時の注意事項	14 頁
3-4	玄米精米のしかた	15 頁
3-5	粳搗精白のしかた	16 頁

## 4. 各部の点検・掃除

4-1	使用後の取扱について	17 頁
4-2	除糠アミ・糠シュートの掃除方法	17 頁
4-3	吸引ファンの掃除方法	18 頁
4-4	サイクロンの掃除方法	19 頁
4-5	電気配線図	20 頁

## 5. 不調な時の原因と対策

5-1	不調な時の原因と対策	21 頁
-----	------------	------




# 1. 危険防止のために

## 1-1. 警告用語の種類と意味

\*

- ◎ 警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
この警告ラベルでは、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従って下さい。

警告用語	意味
 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。

守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。

新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償です。）



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し本機の回りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



警告： 当社に無断で本機を改造したり、取り付けられている物を取り外したり加工をほどこし本機と関係のない物を取り付けたりすることは絶対にしないで下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後本機を使用して下さい。



警告： 使用頻度に合わせて本機の点検・掃除は必ず実施して下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
又、点検・掃除を行う場合は必ず電源プラグを抜いて作業して下さい。  
電源プラグの抜き差しにおいては必ずプラグ本体を手で持って行って下さい。  
ケーブル自身をひっぱらないで下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

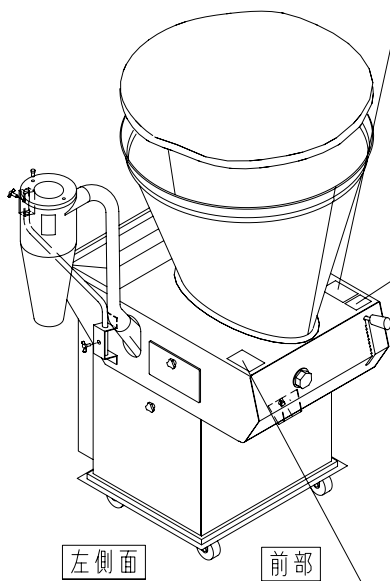


警告： 本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。  
よく熟読され、必ず厳守して下さい。



**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



**警告**



感電防止の為、カバーを開くときは必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。ケ-13

ラベルの説明

図示内部に電装品が収納されております。通電中に接触しますと感電します。  
運転中は前カバーを開けないで下さい。修理・点検など行う際は必ずスイッチを切り、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
(注文コード`260-412-10)

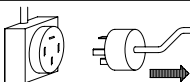
**注意**

運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。チ-4

ラベルの説明

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能、機能を充分理解してから運転して下さい。  
取扱説明書に従わなかったときは本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。  
(注文コード`260-433-10)

**警告**



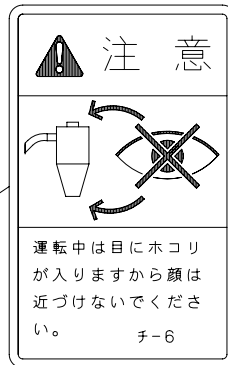
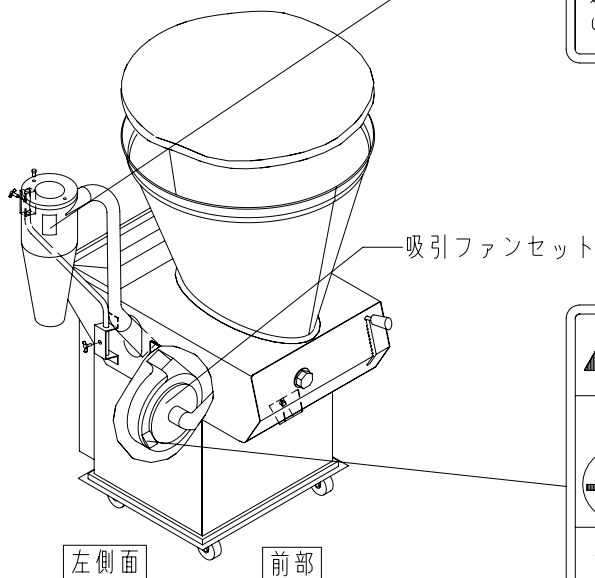
点検、修理及び停電の時は、危険防止の為必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。ケ-12

ラベルの説明

機体内部の点検、修理やベルトの交換その他停電の時等には、危険防止の為必ずスイッチを切り電源プラグを、コンセントから抜いて下さい。  
(注文コード`260-411-11)



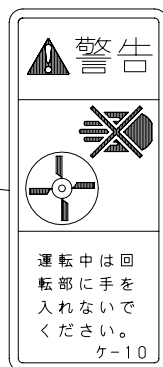
**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

運転中にサイクロンを、のぞきますと、目にゴミなどがはいり目をいためますので、運転中は絶対にのぞかないで下さい。

(注文コード` 260-435-10)



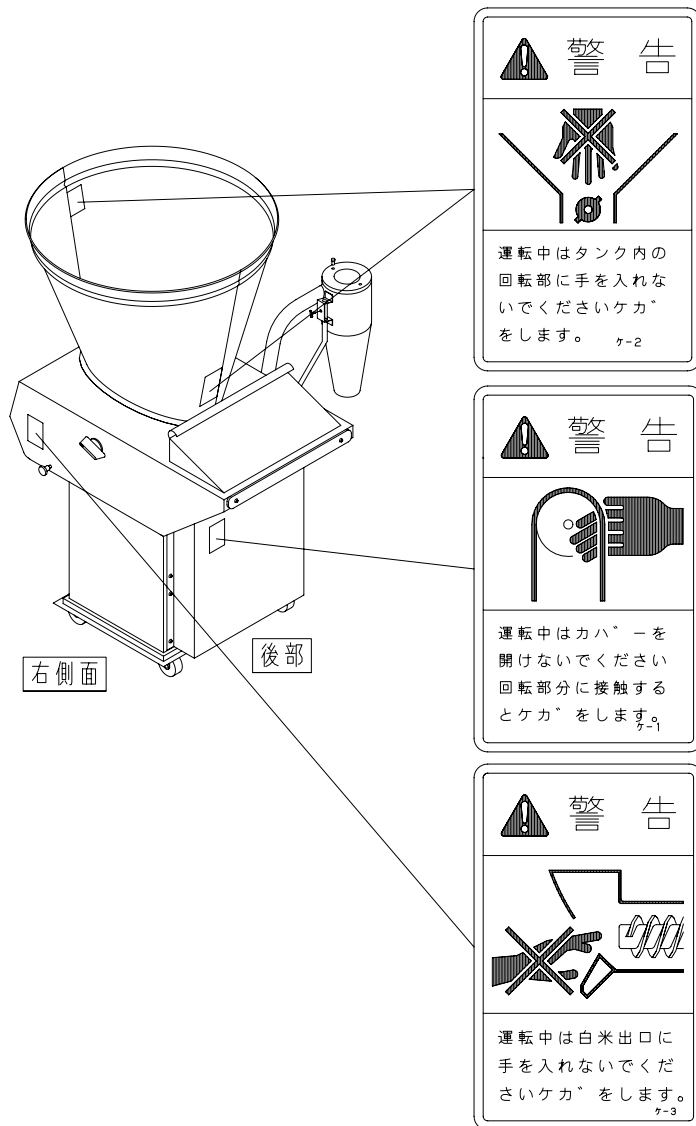
ラベルの説明

図示の吸引ファンセット内にはファンが収納されております。  
運転中これに接触しますと大けがをします。  
運転する場合は必ず吸引ファンフタを閉めて下さい。  
又、点検・修理などで扉を開ける場合は必ず電源プラグを抜いて下さい。

(注文コード` 260-409-10)



**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

タンク内及び、張込みホッパー下部には回転部があります。運転中にこれらに、直接触れるとケガをしますのでタンク内の掃除やなんらかの理由で手を入れる時は、必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

(注文コード 260-401-10)

ラベルの説明

後カバーを開けると、伝動部があります。運転中にこれらに、手で直接触ると、ケガをしますのでカバーを開ける時は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

(注文コード 260-400-10)

ラベルの説明


運転中回転しているロールにさわるとケガをしますので、運転中は白米出口に絶対手を入れないで下さい。

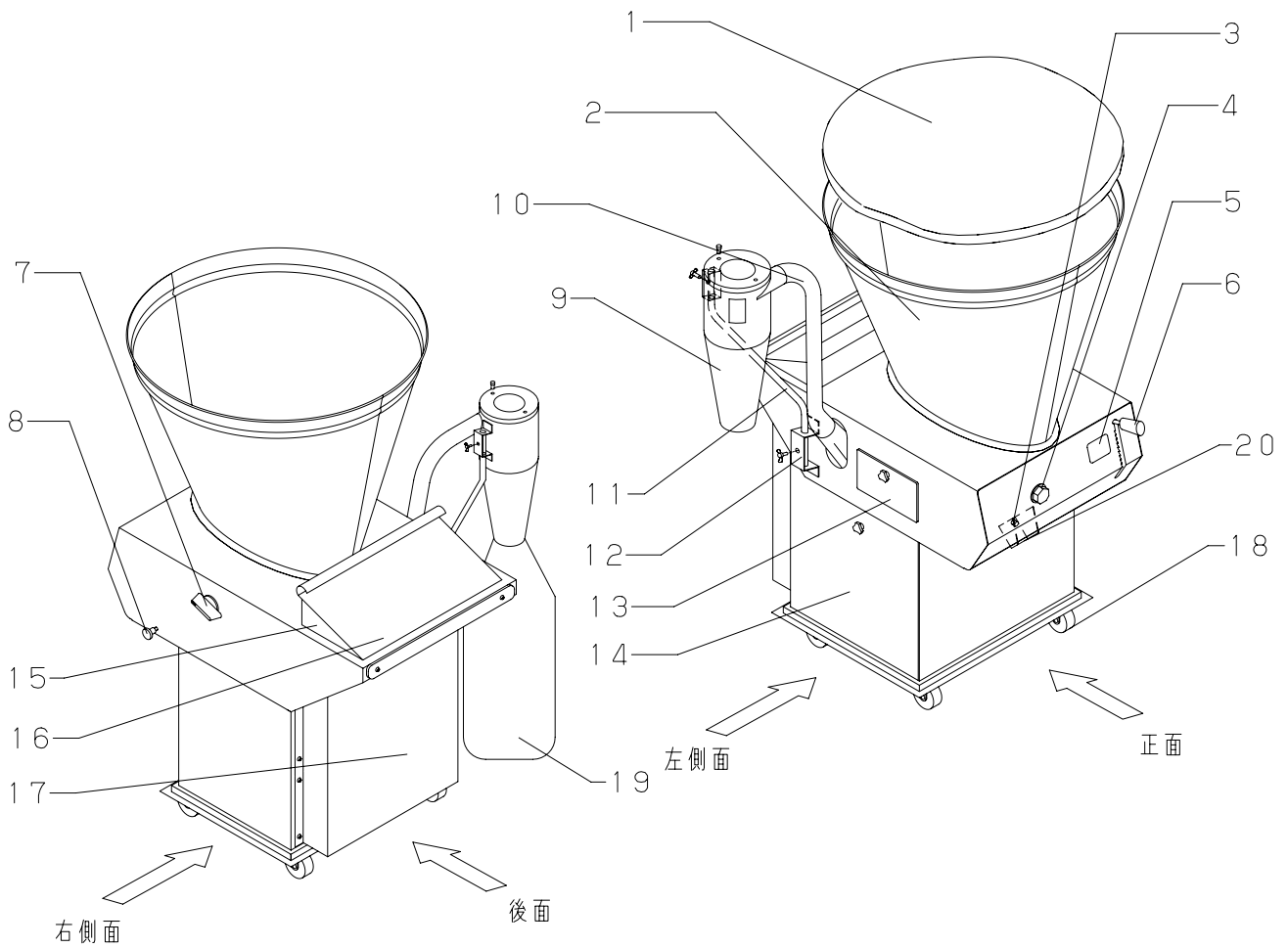
(注文コード 260-402-10)



## 2. ご使用になるまえに

### 2-1. 本機の構成名称 \*

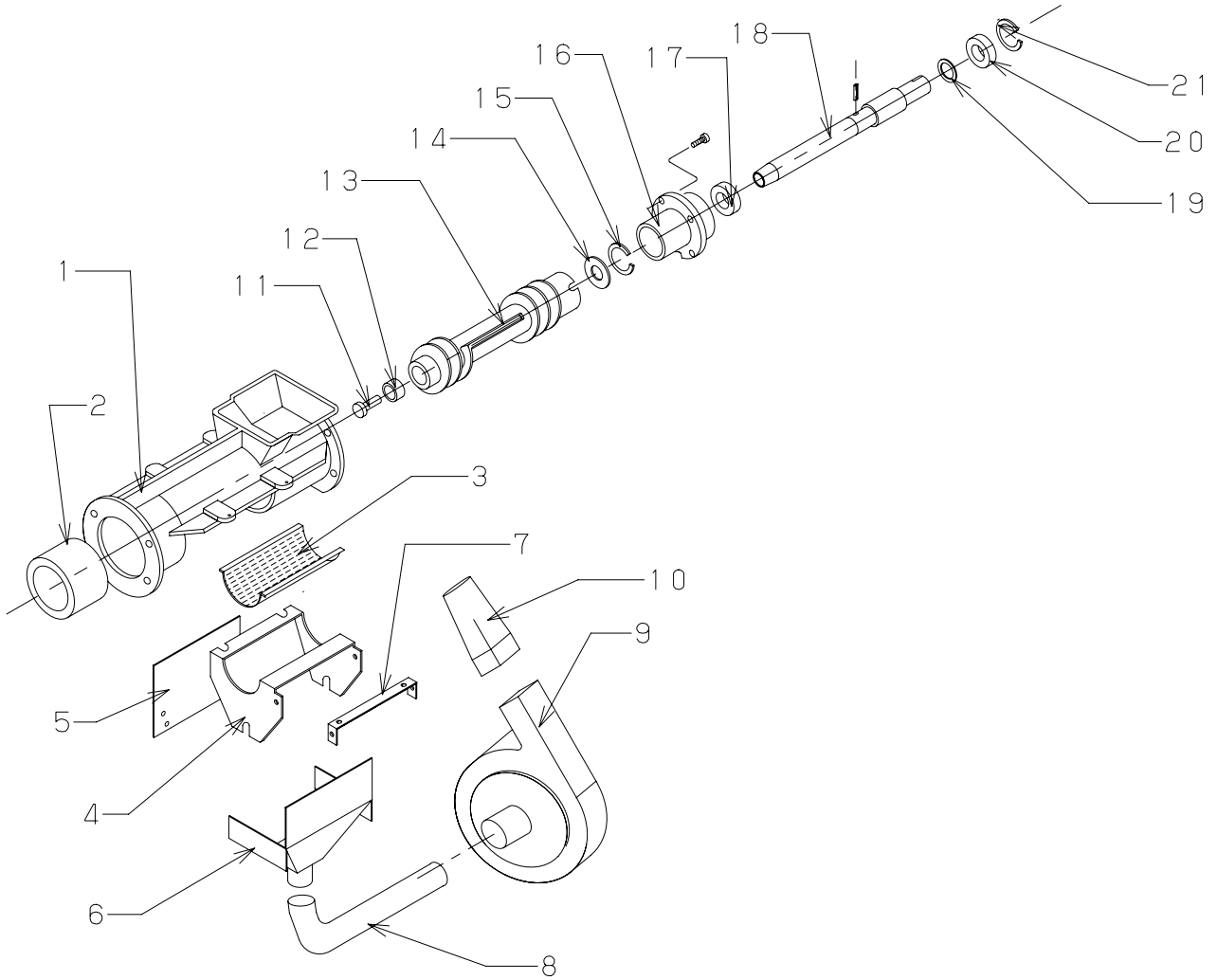
 **注意：** ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱い下さい。



1	タンクカバー	11	サイクロン支柱
2	タンク	12	サイクロン支柱受
3	フレーター	13	点検カバー
4	タイマー	14	左トビラ
5	抵抗メーター	15	張込ホッパー
6	抵抗ニギリ (抵抗レバー)	16	張込ホッパーフタ
7	シャッター (ハンドル)	17	ヘルトカバー
8	白米排出ツマミ (排出シャッターツマミ)	18	キャスター
9	サイクロン	19	糠袋
10	サイクロンホース	20	白米出口



注意： ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱い下さい。



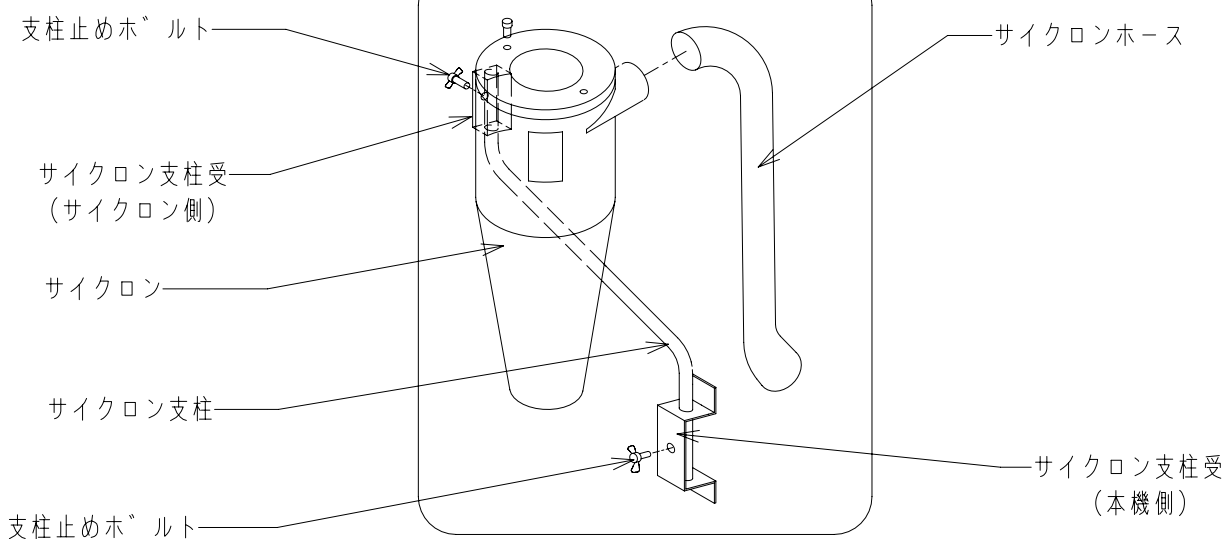
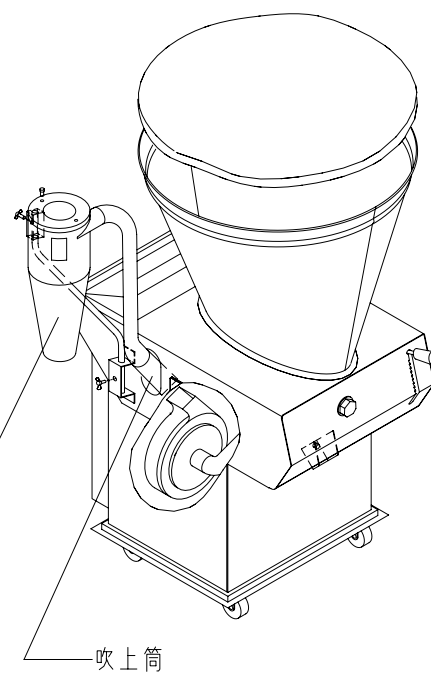
1	本体	8	糠吸引ホース	15	C型同心止メ輪
2	円筒	9	吸引ファンセット	16	主軸受ケース
3	除糠アミ	10	吹上筒	17	主軸へ"アリンク"
4	金アミ枠	11	丸皿小ネジ" (M8×30)	18	主軸
5	シュート透明板	12	ロール押え	19	主軸座金
6	吸引シュート	13	ロール	20	主軸へ"アリンク"
7	アミ枠カ"イト"	14	フェルトパ"ッキン	21	C型止メ輪



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。

● 下記に示す手順にてセットして下さい。

- 1) . サイクロン支柱をサイクロン支柱受（本機側）の穴に差込みます。
- 2) . サイクロンをサイクロン支柱に差込みます。
- 3) . サイクロンホースをサイクロンにセットします。
- 4) . サイクロンホースの片方を精米機の吹上筒に差込みます。
- 5) . サイクロンの位置を合わせましたら2ヶ所の支柱止めボルトを閉めて下さい。
- 6) . サイクロンの取り付けが終了しましたら付属の糠袋をサイクロンの下に取り付け下さい。



注意：糠袋は約2俵程度の糠を収納することが出来ます。  
2俵以上になりますとサイクロン上部より糠が吹上げ、サイクロン・吸引ファン等の糠詰まりの原因になりますので、2俵程度精米されましたら必ず糠の処理を行って下さい。



警告： 本機を使用する場合の電氣工事に関しては、電氣工事資格者又は電氣工事資格店にて配線は電氣設備技術基準、内線規定及び電力会社の規定に従って下さい。  
又本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施して下さい。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適用している事を確認後本機を使用して下さい。

項目 機種	サイクル (Hz)	使用 モーター (kW)	毎分 回転数 (rpm)	毎時能力 玄米 (Kg/H)	タンク 容量 (Kg)	重量 (Kg)	外形寸法 幅×長さ×高さ (cm)
4LEA型	50Hz	三相200V 2.2kW	930	100~150	玄米60Kg	82Kg	81×93×116 (cm)
	60Hz		1100	100~150	粳40Kg		

- (注) 1) 毎時能力は玄米の乾燥度合い、品種、米質、搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。  
2) なお仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

三相モーターの出力と各設備の容量 (参考)									
モーター	電圧	開閉器	超過目盛	ヒューズ <sup>*</sup> /	配線最小太さ		3線最大長さ (m)	アース線最小径	
			電流計 (A)	ブレーカー	直径mm	(mm <sup>2</sup> )		直径mm	(mm <sup>2</sup> )
2.2KW	(200V)	30A以上	15	30A以上	1.6	(2.0)	23	1.6	(2.0)

- 1) 使用電源が . 上記に示す電氣的な仕様を十分満足しているか確認して下さい。  
2) 安全のために必ずアース (接地工事をして) をとってください。



警告： 修理及び点検作業を行う場合は必ず元電源を切ってから実施して下さい。  
感電等安全上支障をきたすことがあります。

	電 源	モーター容量	フ レーカー容量	ヒューズ` 容量
4LEA型	三相200V	2.2KW	15A	30A 以上

(注意) お客様の三相200V電源に、右配線図に示すような進相コンテ`ンサーが取り付けされている事があります。

これは、電気料金の低減が目的であります。お客様でヒューズ`式開閉器をご使用になって、何らかの原因でヒューズ`が切れた場合、切れた配線上には進相コンテ`ンサーの影響により100Vが供給されてしまいます。

この100Vにより精米機に設置した電磁開閉器がチャタリング`現象を起こし損傷する恐れがありますので、安全のために(ヒューズ`式の開閉器をご使用にならず、)ノーヒューズ`フ`レーカーをご使用下さい。

(注意) ヒューズ`の切れる原因

使用電源側にナイフスイッチ等のヒューズ`内蔵型の開閉器をご使用になり、尚且つヒューズ`容量が20A以下の場合、下記の原因により精米機が過負荷状態となり、モーターがロックした場合、ヒューズ`が切断される可能性があります。

- (1) 米が残っている状態で、シャッターを開けたままタイマーをONにする。
- (2) 必要以上に精米抵抗をかけすぎる。
- (3) 電源より精米機まで20m以上線を引っ張ってきている。
- (4) 規定通りの電気工事がされていない。(例えば線が細い)  
又、ヒューズ`が切断された場合、その時の電圧変動の影響でマク`ネットが損傷することがあります。

(対策) 精米機の過負荷によるモーターロック状態を防ぐ為に、

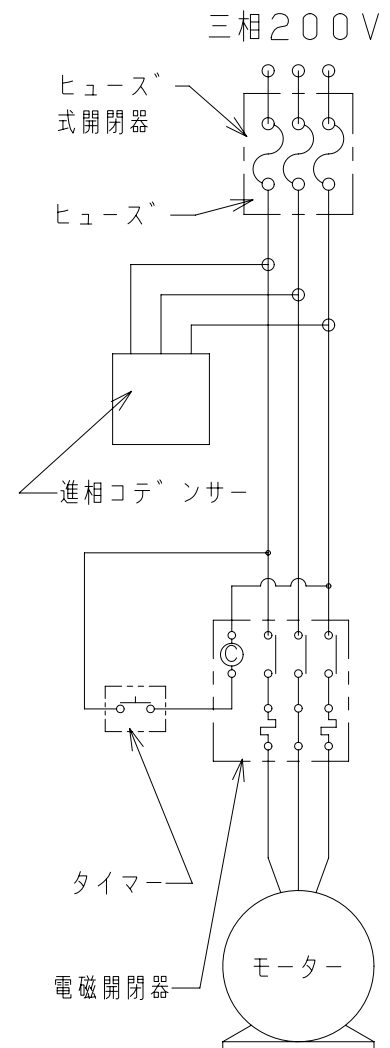
- (1) 必ずシャッターを閉め抵抗を"0"にしてからタイマーをONにする。
- (2) 必要以上の精米抵抗をかけない。
- (3) 規定にあった電気工事により精米機を使用する。  
ヒューズ`容量は30A以上にてご使用下さい。



注意

運転中に停電になった時

- 1) 電源を切り、電源フ`ラク`をコンセントから抜いて下さい。
- 2) 精米機の玄米供給シャッターを閉め、精白度調節ハンドルを(0)にして下さい。
- 3) 停電回復後の再始動(運転再開)の時、始動が困難な時はスイッチを切り、フ`ラク`をコンセントから抜いて、ヘルトカハ`ーをはずし、主フ`ローリーを持って左右に動かして、精米ロール内に膠着した米粒をほぐしてから、再運転して下さい。



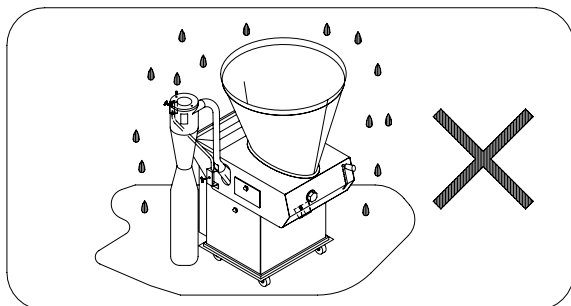


注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから

取扱説明書に従って作業を行って下さい。

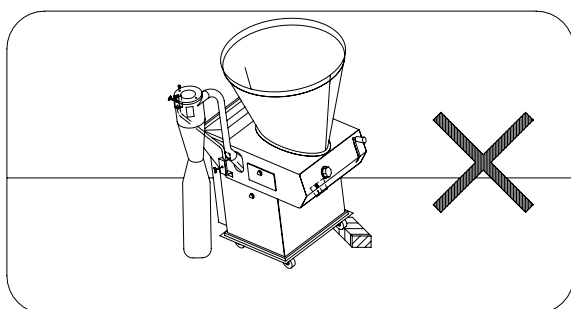
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。

作業するには身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。



注意

据え付けは、湿気のないところをお選びください。本機の性能が充分発揮できないばかりでなく、本機内部にはモーターをはじめとした電装部品が組みこまれておりますので水等が入ってくると、漏電により感電する恐れがあります。

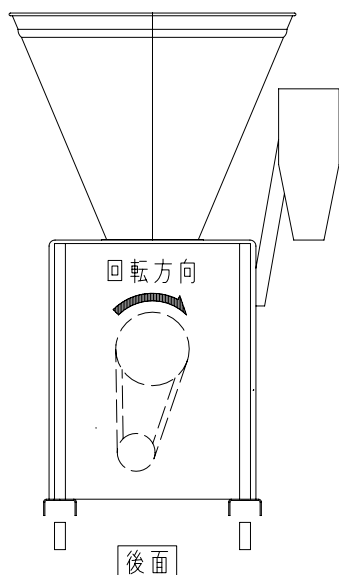


注意

据え付けは、水平になる様にしてください。本機を傾いたままで使用されますと、むら搗や片流れの原因となります。



注意： 回転方向の確認をする際は、必ずベルトカバーを取り付けた状態で行って下さい。



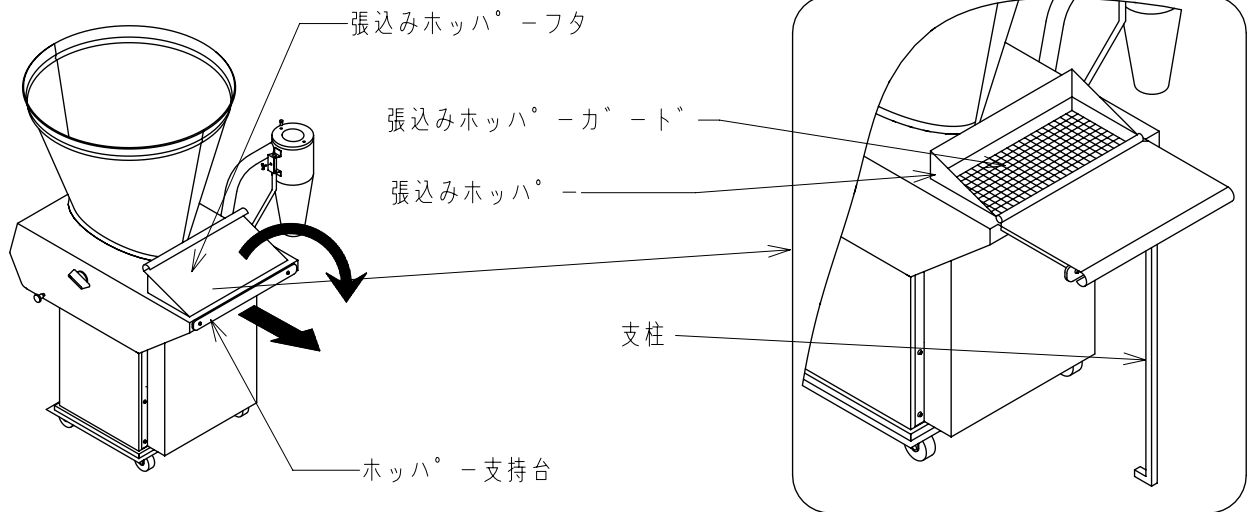
注意 1) 精米機の回転方向は、機体後面部より見て時計方向（右回り）です必ず矢印の方向に回転していることを確認して下さい。

### 3. 運転方法

#### 3-1. 試運転における注意事項

\*

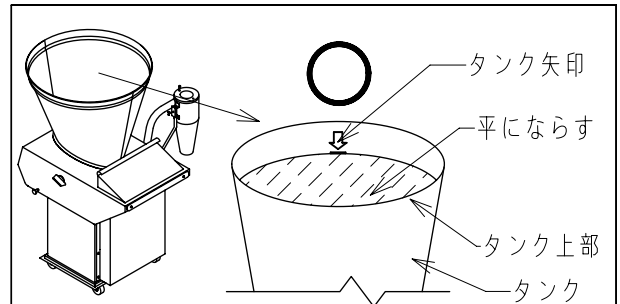
##### 玄米張込ホッパー



- (1) はじめに、シャッター（ハンドル）を「0」の位置にして、上図の様に、ホッパー支持台を引出し、張込みホッパーを開いて下さい。支持台に支柱を固定して下さい。
- (2) 玄米30Kg（4斗）を、張込みホッパー内に、供給して下さい。

注意）・支柱は、床面に接する程度に固定して下さい。

- ・玄米張込み完了後は、張込みホッパーフタを閉じて下さい。
- ・又は、玄米の張込量は、手でならした状態でタンク矢印をこえないで下さい。規定量以上張り込んだり、平にならさなかつたしますと、片流れをおこし「ムラツキ」の原因となります。



##### 抵抗メーターの見方

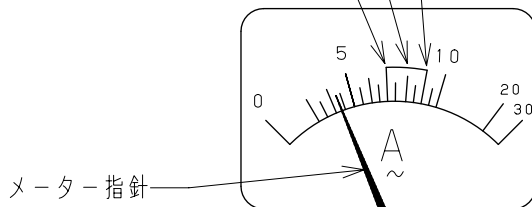
玄米精白のときの標準的な抵抗ニキリ（抵抗レバー）の取扱を下記に示します。

標準米→クリーンゾーン中程又は左側  
 軟質米→クリーンゾーン左側  
 硬質米→クリーンゾーン中程又は右側

新米時は若干弱めとする。

抵抗レバーを調整して上表に合わせる。

クリーンゾーン左側      クリーンゾーン中程      クリーンゾーン右側



クリーンゾーンの見方

##### 参 考

普通、玄米水分が、15%前後のものを標準米、16%~17%のものを軟質米（高水分米）、13%以下のものを硬質米（過乾燥米）といわれております。また新米時は、収穫されてから、1ヶ月後位までの時期をさします。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから  
取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

#### 粳搗精白の仕方

- (1) 抵抗ニキ`リ（抵抗レハ`ー）を「0」の位置にして、シャッター（ハント`ル）を締めて、白米排出ツマミを押して、粳40Kg（4斗）を、張込みホッパ`ーからタンク内のタンク矢印まで、張込んで下さい。
- (2) タイマーを、30分程にセットし、シャッター（ハント`ル）を「3」の位置にして、抵抗ニキ`リ（抵抗レハ`ー）を抵抗メーターク`リーンス`ーン左側にくるように、合わせて下さい。
- (3) 粳が6～7割程取れた頃（約10分頃）、抵抗メーターク`リーンス`ーン中程に合わせて下さい。
- (4) 精白が終了したら、抵抗ニキ`リ（抵抗レハ`ー）を「0」にしてタイマーを除糠にセットして、除糠して下さい。
- (5) 除糠が終了したらタイマーを再び除糠の位置にして、シャッター（ハント`ル）を「3」の位置にして、白米排出ツマミを引いてお米を排出して下さい。

#### 玄米精米の仕方

- (1) 白米排出ツマミをしめて、シャッター（ハント`ル）を「0」の位置にして下さい。
- (2) 玄米60Kg（4斗）を、張込みホッパ`ーからタンク内のタンク矢印まで張込み、平にならして下さい。
- (3) タイマーを、米質に合わせてセットして下さい。  
（標準米、軟質米・・・25～35分、硬質米、モチ米・・・35～45分）
- (4) シャッター（ハント`ル）を開けて下さい。
- (5) 抵抗ツマミ（抵抗レハ`ー）を調節して、ク`リーンス`ーンに合わせて下さい。
- (6) 精米が終了したら、抵抗ツマミ（抵抗レハ`ー）を「0」の位置にして、タイマーを除糠の位置にして、除糠が終了したら、白米排出ツマミを引いて、タンク内のお米を排出して下さい。





**注意：** 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

**注意1** タイマーのセットは初回は短かめに合わせて下さい。白米になってから長時間精米を続けると砕米発生  
の原因となる事があります。

**注意2** 抵抗の強さは、初回は抵抗メーターのク`リーンス`ーンの左側か、中程に合わせて下さい。特に軟質米  
で、途中でク`リーンス`ーン右側をオーバ`ーする様なときは、抵抗ツマミ（抵抗レバ`ー）を1山又  
は2山程弱めて下さい。

**注意3** 本機には、（ソフトマチック）調圧抵抗装置付きです。（ソフトマチック）の作用で普通は運転途中の抵  
抗の調節は不要です。

**注意4** 1～2回ご使用になって、お米の性質と、精米機の具合がおわかりになったら、次回から抵抗の強さ、タ  
イマーの時間等を加減してご使用下さい。

**注意5** 新米時期や軟質米、モチ米などのご使用で、タンク内又は本機内で米づまり又はむらづきが発生するこ  
とがあります、その場合は、下記のようにして下さい。

- (1) 運転を停止して、本機の電源フ`ラク`をコンセントから抜いてください。
- (2) 抵抗を「0」にして、シャッター（ハント`ル）を、全開にする。
- (3) 排出シャッターツマミ（排出ツマミ）を一度開いて、循環して流れる部分や抵抗をかける部分等  
のツマミが発生したところを棒等を使って充分ほぐして、米、米糠等を一度排出して下さい。
- (4) 排出した米は、タンク内に戻してから精米を再開して下さい。

次に精米する場合は、次の手順でおこなって下さい。

- (1) シャッター（ハント`ル）を、全開にする。
- (2) 抵抗を「0」からスタートして徐々に、抵抗を加える。
- (3) 機械が新しい場合は、抵抗「0」～「1」であっても精米のできる場合があります。

**注意6** 糊づき精米の注意

- (1) 初め抵抗は弱め（抵抗メーターク`リーンス`ーン左側）にしてください。
- (2) 脱ぶが早すぎて、供給口につまるときは、一度抵抗ニキ`リ（抵抗レバ`ー）を上げて、除糠して下  
さい。

**注意7** 本機は、籾、玄米専用ですので、それ意外のものでは使用しないでください。やむを得ず麦等でご使用さ  
れる場合は、クリーニング`用としてご使用ください。



### 注 意

運転中停電した場合は必ず電源フ`ラク`をコンセントから抜いてください。電源が復帰したときに、本機  
が知らぬ間に、作動したりして思わぬ事故を招くことがあります。

- また停電の際には、次のことをおこなって下さい。
  - (1) シャッター（ハント`ル）の位置を、閉にして下さい。
  - (2) 抵抗ニキ`リ（主抵抗レバ`ー）の位置を「0」に、戻して下さい。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから  
取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。

- 1) . 白米排出ツマミをしめてシャッター（ハンドル）を「0」の位置にして下さい。
- 2) . 玄米60Kg（4斗）を張込ホッパーからタンク内のタンク矢印まで張り込み  
平らにならして下さい。
- 3) . タイマーを米質に合わせてセットして下さい。  
（標準米，軟質米・・・25～35分 硬質米，もち米・・・35～45分）
- 4) . シャッターを開けて下さい。
- 5) . 抵抗ツマミを調節してグリーンゾーンに合わせて下さい。
- 6) . 精米が終了したら抵抗ツマミを「0」の位置、タイマーを除糠にして下さい。  
除糠作業が終わりましたら白米ツマミを引いてお米を排出して下さい。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから  
取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。

- 1) . 抵抗ニギリを「0」の位置にして、シャッター（ハンドル）を閉めて下さい。  
玄米60Kg（4斗）を張込ホッパーからタンク内のタンク矢印まで張り込み平らにならして下さい
- 2) . タイマーを30分程度にセットしシャッターを「3」に合わせて下さい。  
抵抗ニギリを抵抗メーターグリーンゾーン左側にくるように合わせて下さい。
- 3) . 粳が6～7割程度取れましたら、抵抗メーターグリーンゾーン中程に合わせて下さい。
- 4) . 精白が終わりましたら抵抗ニギリを「0」にし、タイマーを除糠にセットして下さい。
- 5) . 除糠作業が終わりましたら、タイマーを再び除糠位置・シャッターを「3」の位置にして  
白米排出ツマミを引いてお米を出して下さい。

## 4. 各部の点検，掃除

### 4-1, 使用後の取扱について



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

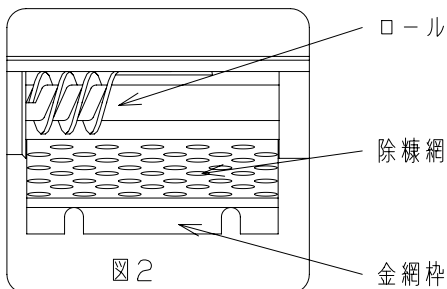
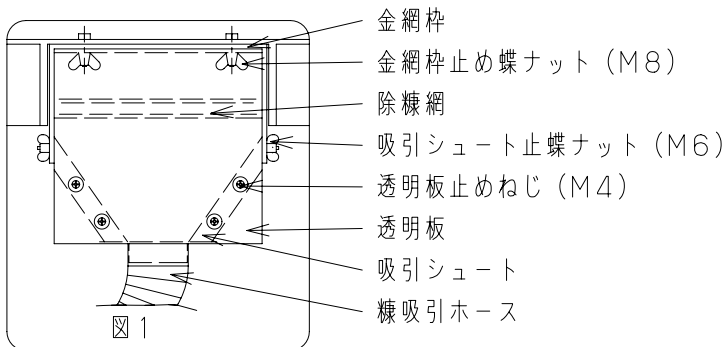
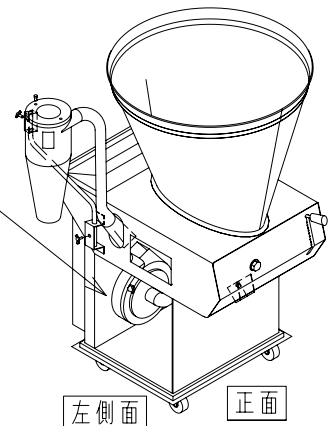
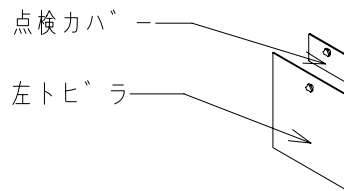
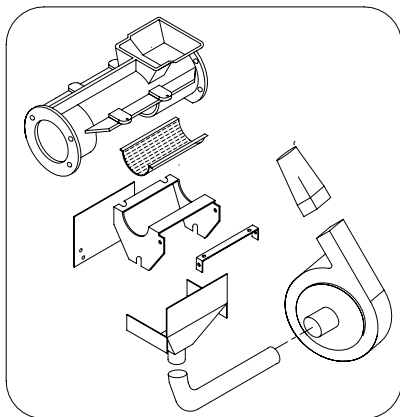


警告： 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・糠袋にたまった糠，粕殻等は，一度運転する度に排出して，糠袋の中をきれいにして下さい。
- ・タンク内の糠等は，乾いた布で拭いて下さい。
- ・除糠アミについた糠，小米等は時々除去して下さい。
- ・使用後は，タンクに異物が入らないように，タンクカバーを，本機にかぶせて下さい。

### 4-2, 除糠アミ・糠シュートの掃除方法

- ◎ 本機の左トビラを開けますと，内部に糠シュートがあり，その上に除糠アミがあります。  
下記に示すように，除糠アミの交換・糠シュートの掃除を行って下さい。



注意：図1，図2は本機  
左側面より見たものとする

#### 除糠網の取り外し方

- (1) 透明板止ネジを，4ヶ所外して透明板を外します。
- (2) 吸引シュートの左右の止め蝶ナットをゆるめて，吸引シュートを下方に引き下げ取り外して下さい
- (3) 金網枠止め蝶ナットを外して，図1の手前から奥に回すと図2の様になりますので除糠アミを取り外して下さい。
- (4) 取り外した除糠アミ，金網枠を，ブラシ等で小米，米糠を除去して下さい。

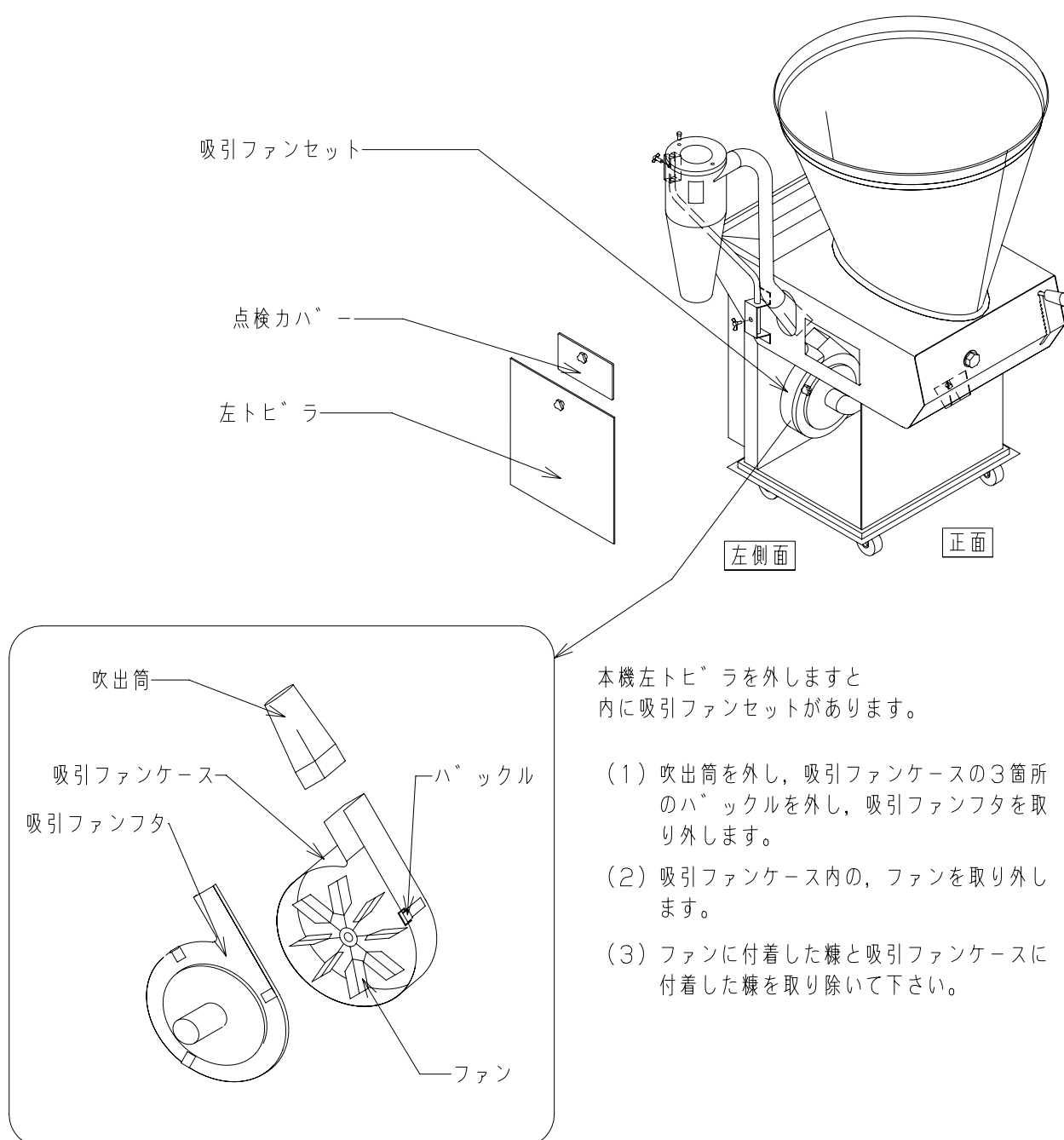
#### 除糠網の取り付け方

- ・取り付けは，取り外し方の逆の手順で行って下さい。



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源プラグは抜いて下さい。感電する危険性があります。

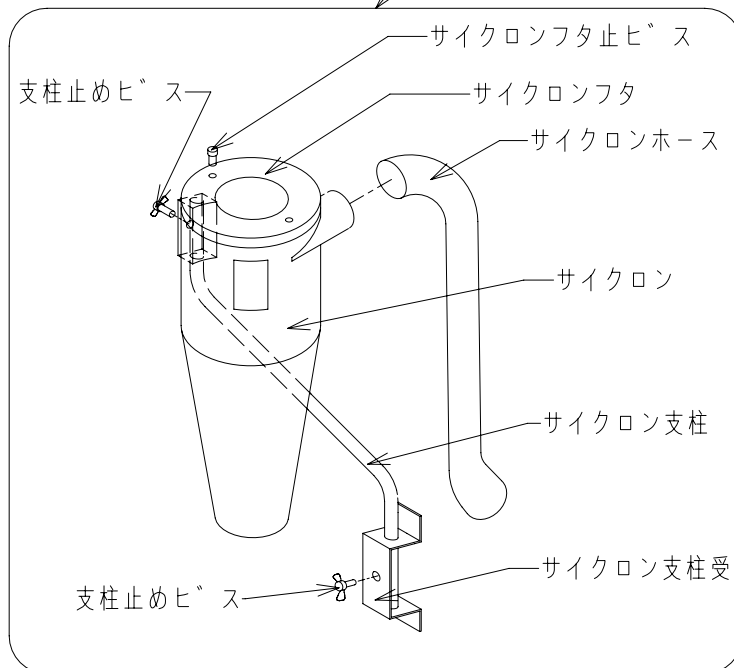
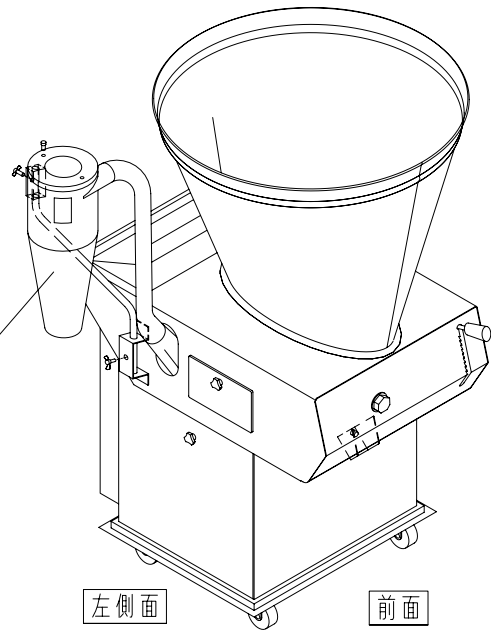
- ◎ 長期にわたって使用しますと、図示の吸引ファン内に糠・ホコリ等が付着します。下記に示す手順で、定期的に掃除を行って下さい。





警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源プラグは抜いて下さい。感電する危険性があります。

- ◎ 長期にわたって使用しますと、図示の吸引ファン内に糠・ホコリ等が付着します。下記に示す手順で、定期的に掃除を行って下さい。



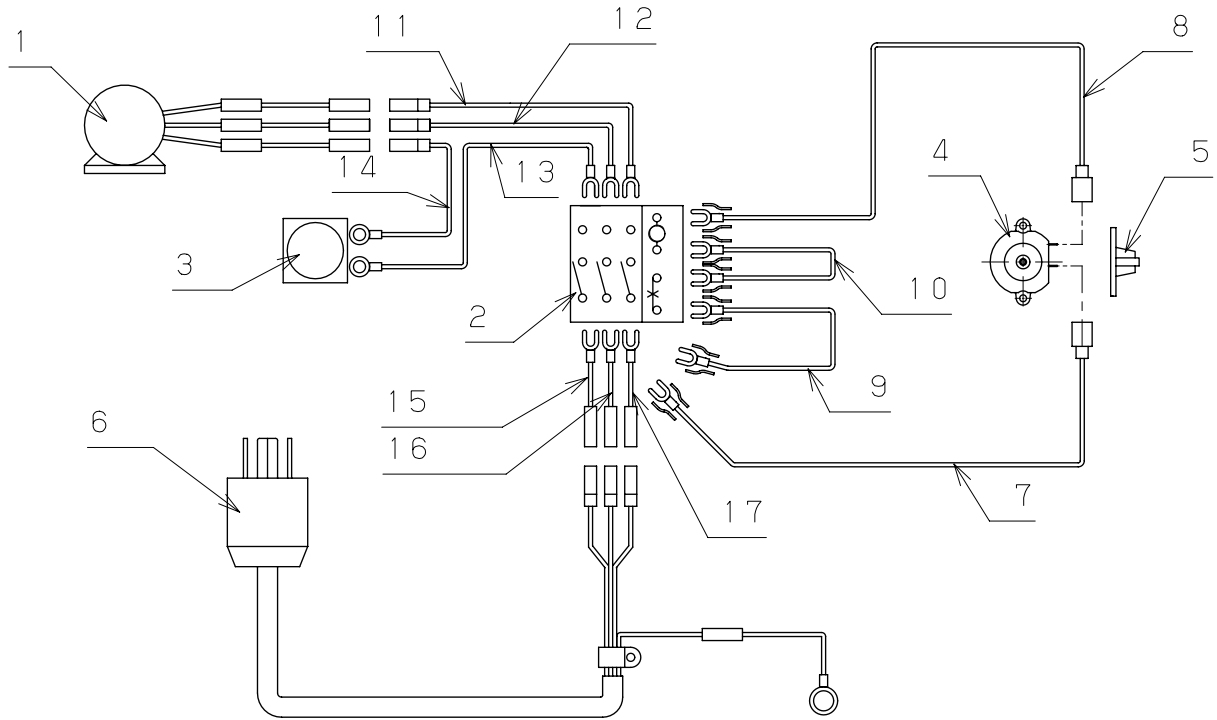
- (1) サイクロンホースを外します。
- (2) サイクロン止めヒモを2箇所外しますと、サイクロンフタが取れます。
- (3) サイクロン本体に付着した糠を取り除いて下さい。
- (4) 次に、サイクロンホース内部の糠も取り除いて下さい。

4-5. 電気配線図

\*



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。また、必ず電源フックは抜いて下さい。感電する危険性があります。



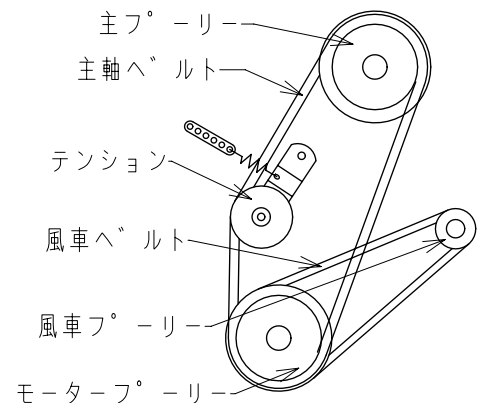
電気部品一覧表

番号	品名	番号	品名	番号	品名
1	三相200V 2.2kWモーター	7	配線コード (Y) 黄	13	配線コード (F) 黒
2	メインネットスイッチ	8	配線コード (Y) 黄	14	配線コード (G) 黒
3	抵抗メーター	9	配線コード (P) 赤	15	配線コード (C) 黒
4	タイマー	10	配線コード (P) 赤	16	配線コード (B) 白
5	タイマーツマミ	11	配線コード (D) 赤	17	配線コード (A) 赤
6	電源コード	12	配線コード (E) 白		

4-6. フォーリー、ベルトサイズ表

\*

フォーリーサイズ及びベルトサイズ (4FE型)	
名称	サイズ
主軸ベルト (インチ)	SA-40 (レッド)
風車ベルト (インチ)	M-29 (レッド)
主フォーリー (∅mm)	180 VA×1
モーターフォーリー (∅mm)	116
風車フォーリー (∅mm)	36



## 5. 不調な時の原因と対策

### 5-1. 不調な時の原因と対策

\*

状 態	原 因	対 策
<ul style="list-style-type: none"> <li>タイマーを回しても機械が運転しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源がきていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電している。電力会社に通知</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ヒューズが切れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズを交換する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米機のフ レーカーが働いている。 (作動している)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フ レーカーの働いた原因を取除いてからフ レーカーの赤いボタンを押す。 (注意：赤いボタンは、2秒以上押し続けしないで下さい。)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コート の断線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>断線コート を取替える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>精米時間が長くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質米（過乾燥米）である。</li> <li>抵抗が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッター（ハンドル）を精米位置に合わせて抵抗を強くする。</li> <li>抵抗メーターのク リーンソ ーン右側又は中程に合わせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>玄米精白のとき除糠アミに糠が固着する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッター（ハンドル）の開けすぎ。</li> <li>抵抗が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッター（ハンドル）を、精米位置に合わせて抵抗を強くする。</li> <li>抵抗メーターのク リーンソ ーン右側に合わせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄米水分が適正でない。 (過乾燥米である。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄米水分を出来るだけ14～15%に調整する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>糠袋に糠が満タンになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>満タンの糠を排出する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>除糠アミに小米等がつまっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除糠アミを掃除して小米等を取り除く。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>むらづき、片流れが生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>張込み量が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク張込量は適正に！ (粳40Kg, 玄米60Kg迄)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>機体が傾いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機体を水平に据え付ける。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク内面に油等が付着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク内面を布切れできれいにふく。 糠などでこする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク内に抵抗となるキス がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンクの交換を要する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>フ レーカーが働く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗が強すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新米のときや軟質米（高水分米）のときは特に抵抗を半～1目盛弱くして、ク リーンソ ーン左側に合わせて下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の单相モーター付機械や電熱器等が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費電力の大きい電気製品との同時使用を避ける。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>配線が不適正。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正配線されたコンセントへ直接プラグ を接続する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>碎米が多く出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗が強すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗を半～1目盛弱くする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>糠袋に米が飛ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粳, 玄米に碎米や胴割れ米がまじっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗を少し弱めて、碎米の増加を防止する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>除糠アミの破損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除糠アミを取換る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>粳搗で循環しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗のかけすぎによる急激な脱ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗を弱めてシャッターを全開にして粳殻をぬく。</li> </ul>



# 保証規定

## 1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。  
但し業務用は3ヶ月といたします。  
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

## 2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認められた場合に限り、弊社特約販売店または指定サ-ビス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料で行います。

## 3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。  
(1)使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。

- (2)弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
- (3)弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (4)弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (5)弊社特約販売店、または弊社指定サ-ビス工場以外で修理され、故障した場合。
- (6)故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレ-ム判定完了まで保管して下さい。)
- (7)本書のご提示がない場合。
- (8)本書に、購入日(年月日)・購入先(販売店名及び農協名)の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成	年	月	日
購入先 (販売店及び農協)				



この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

## マルマス機械株式会社

本社・工場 富山県中新川郡上市町若杉2  
新潟工場 新潟県燕市小池5212-3  
札幌出張所 札幌市北区篠路2条5-16-17  
関東出張所 埼玉県羽生市上新郷6137-21  
広島出張所 広島市安佐南区西原2丁目24-26  
福岡出張所 福岡市東区和白丘1丁目7番3号  
熊本出張所 熊本市富合町廻江846-1  
<ホームページ> <http://www.marumasu.co.jp>

TEL 076-472-2233(代)  
TEL 0256-66-2411~2  
TEL 011-771-5357  
TEL・FAX 0485-61-1566  
TEL・FAX 082-573-7857  
TEL・FAX 092-606-3293  
TEL・FAX 096-320-4973  
<e-mail> [mill\\_star@marumasu.co.jp](mailto:mill_star@marumasu.co.jp)